## がん化学療法治療計画書 大腸-(54) 2019.11

i				
	担当医/指導医	/		
	目的	□ 積極的治療 □ 症状緩和		
日的		□ 術前補助 □ 術後補助		
	告知程度	口全告知 口部分告知 口未告知		
告知内容	生知由家	□ 癌(原発・再発・進行)		
	디세인습	□ 抗癌剤を使用する		
		□ 依頼する		
身長: cm 体重: Kg	<b>加朱</b> 旧夺	看護師( ) 薬剤師( )		
体表面積 m <sup>2</sup>	HBV感染スクリーニング ロ 確認済み			

体表面槓 ————————————————————————————————————	m <sup>2</sup>	HBV感染スクリーニング	□□ 唯認済み		
大腸癌 S-1+アバスチン併用療法					
BV 5mg/kg Day 1	BV 5mg/kg	アバスチンは、Da	内服後、2週間休薬, ay1、15、29に投与		
投与開始	3 年 月 日		コース予定		
● S-1	80mg/m <sup>2</sup> 28日間 (1日目のタ〜29日目の朝まで找	<u>投与量:</u> (与)	mg		
● アバスチン (BV	5mg/kg Day1、15、29 一般名ベバシズマブ、商品名アバスチン)	投与量: mg	抜き取り量: mL  量 (mL) = 体重(kg)×0.2		
【投与スケジュール】					
	1)生食 100mL	1V	投与時間は 下記を参照		
Day1、15、29	アバスチン(	)mg			
	2)生食 50mL	1V	ルートフラッシュ		
<ul> <li>★ 投与時間:初回投与時は90分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。</li> <li>2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。</li> <li>★ 溶解方法:必ず生理食塩液を使用する。本剤とブドウ糖溶液の混合は避ける。</li> </ul>					
特記事項					